

# 小豆島中央病院だより



この度の令和6年能登半島地震により、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。

さて、当院はおかげさまで、平成28年4月の開院から8年が経過し、9年目を迎えることができました。これもひとえに皆さまのご支援とご厚情の賜物と心より感謝いたします。

昨年度は新型コロナウイルス感染症の位置づけが、季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行しました。移動も旅行も自由となり、イベント開催の制限もなくなりました。長い行動制限から解放され、人々はコロナ前の生活に戻ったようにも見えます。一方で、濃厚接触者や感染者が市中に増えることとなり、感染のリスクは高まっています。今後は、日常の感染対策が、より一層重要になると感じております。

また、当院では、昨年度から看護師不足がより深刻な問題となっております。一部の病棟で入院患者数を制限せざるを得ない厳しい環境下ではありますが、島内唯一の公立病院として、今後も島民の皆さまが安心して生活していただけるよう、持続可能な医療提供体制の構築に努めてまいります。

さらに、今年度から「医師の働き方改革」が施行され、医師の時間外労働が厳しく規制されることとなります。島内の救急医療体制を維持していくためには、いわゆる「コンビニ受診」の削減など住民の皆さまのご協力が不可欠です。

引き続き、地域から信頼され、必要とされる病院づくりに取り組むとともに、「地域の皆さまに寄り添う病院」という基本理念のもと、良質で適切な医療の提供を目指してまいりますので、当企業団の運営にご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



小豆島中央病院企業団 企業長 佐藤 清人

- 当院部署紹介
- 栄養科レシビ
- 病院職員オススメ！私の癒しスポットリレー
- リスクマネジメント委員会より
- 令和6年能登半島地震 DMAT活動報告
- 第42回タートル・フルマラソン全国大会に参加しました
- 小豆島中央病院職員募集



## 薬剤部



薬剤部は薬剤師7名、調剤助手5名の計12名のスタッフが在籍し、当院の病院理念であるS（スペシャルティ）C（コミュニティ）H（ホスピタリティ）を体現出来るよう薬剤師としての専門性を磨きつつ他の医療職を尊重しながら地域医療に貢献出来るよう業務にあたっています。

薬剤部の仕事は中央業務と病棟業務に分かれており、2階の中央業務は調剤助手と2名の薬剤師が入院患者様の内服・外用薬調剤、注射調剤を行いながら、検査処置薬・自己注射による加療が必要な患者様に対しての手技や注意点の説明、高カロリー輸液・抗癌剤のミキシングなどを行っています。病棟業務では各病棟に1～2名の薬剤師を配置し、入院された患者様の服用していた薬の確認、看護師と連携し入院中に使用する薬の相互作用、注射薬の配合変化を含めた薬学的管理、医師と連携し治療薬の効果や副作用のモニタリングを行っています。その他、ICT（感染対策チーム）やNST（栄養サポートチーム）等の医療チームにも参加し病院全体での薬学的なアセスメントを行っています。当院の薬剤部では地域医療を支える取り組みの一貫として調剤薬局の薬剤師が入院中に変更となった薬剤等を把握出来るようサマリーを作成し島内の調剤薬局と情報共有を行い退院後も患者様に切れ目の無い薬学的ケアを実施出来るよう取り組んでいます。病院内外に関わらず島内の皆様が安心して服薬を受けられるように今後も環境を整えていき様々な活動を行えるよう努力して参ります。



## 臨床検査科

臨床検査科で働いているスタッフは“臨床検査技師”という資格を持っており、現在9名が所属しています。病気の原因を調べたり、治療の効果を確認するために、様々な検査を行っています。臨床検査には大きく分けて「検体検査」と「生理検査」があります。

「検体検査」は患者さんから採取された血液や尿、便などを調べていきます。いろいろな分析装置や顕微鏡などを使って検査を行い、そこから得られた情報を正確に分析し、報告しています。感染症を起こす原因菌を見つけ、どの薬が有効か調べたり、安全な輸血を行うための検査も臨床検査科の仕事です。また、採血室では看護師さんとともに採血もを行っています。

「生理検査」は患者さんに直接接触して行う検査です。心電図、エコー、肺機能検査、脳波検査などがあり、体から得られた波形や画像をもとに、身体の構造や機能を解析・評価していきます。患者さんの状態を見ながら一緒に検査を進めていきますので、安心して検査を受けて下さい。

患者さんの目に直接ふれることの少ない部門ですが、診療を支えるスタッフの一員として新しい情報を取り入れながら、日々努力をしています。

新年度を迎え、環境が変わった方もいらっしゃると思いますが、体調管理は出来ていますか？常に患者さんに寄り添い、他職種との連携を大切にし、安心して検査を受けていただけるような検査室を目指していきたいと思っております。



～春のおすすめ献立～



鯖の野菜あんかけ  
菜の花の辛子和え

新じゃがとカリフラワーのマヨ和え  
いちご

春のおすすめの献立をご紹介します！  
春が旬の食材は彩り豊かで、甘味・旨味・香りがしっかりあるのが特徴です＊  
献立の中には鯖・菜の花・新じゃがいも・いちごを取り入れました。その中で鯖を使った塩分控えめレシピのご紹介です。鯖は関西では春を告げる魚として有名で、春から初夏にかけてが旬とされ、不飽和脂肪酸の一種、DHA・EPAが豊富に含まれています。ぜひご自宅でも旬な食材を取り入れ、春を感じてみてください！

臨床栄養科一同

病院職員オススメ！  
私の癒しスポットリレー

小豆島の夕日はどこから見てもきれいですが、私の一押しは大谷からの夕日です。なんだか安心する様な、寄り添ってくれる優しい景色です。夕暮れ時の寂寥の中行き交う船にほっとする、日が暮れるまで癒され時間です。  
(事務部 樋口)



RECIPE

春が旬の鯖を使った塩分控えめレシピ☆



■ 栄養成分表示(1人分) ■

エネルギー	208kcal
たんぱく質	15.6g
脂質	10g
炭水化物	13.5g
塩分	1.15g

材料(4人分)

骨なし鯖(無塩)	4切れ(1切れ70g)
薄力粉	大さじ3(27g)
植物油	大さじ1(12g)
たまねぎ	1個(200g)
にんじん	1/2個(80g)
ピーマン	1個(40g)
塩・こしょう	少々(0.2g,0.01g)
ガラスープの素	小さじ2と1/2(6g)
濃口醤油	小さじ1弱(4g)
水	カップ1.5杯(300cc)
片栗粉	大さじ1(9g)

作り方

- 1 たまねぎ・にんじん・ピーマンを千切りにします。
- 2 鯖に小麦粉をまぶし、植物油で両面を焼きます。
- 3 鍋に水とAの調味料を入れ、煮立てていきます。
- 4 そこに千切りした野菜を加え、野菜に火が通るまで煮ていきます。
- 5 火を止め、水溶き片栗粉を加え、とろみをつけて餡を作ります。
- 6 焼いた鯖の上に餡をかけて盛り付けたら完成。

リスクマネジメント委員会より

各部門のスタッフから構成されたメンバーで、毎月1回、委員会を開催しています。「ヒヤッとしたり、ハッとした事例」を報告し、その報告に対して分析を行うとともに、医療安全対策を検討しています。また、医療安全に対する意識や技術の向上のため、新規採用時のオリエンテーションや全職員を対象とした職員研修も開催しています。さらに、リスクマネジメント委員会のメンバーは、3グループに分かれて、それぞれ院内巡回をしたり、転倒・転落に関するカンファレンスを行ったり、医療安全啓発のためのポスターを作成しています。安全な医療を遂行するためには、患者様の御協力も必要です。職員とともに、お名前や治療内容の確認などに御協力いただきますようお願いいたします。

安全で働きやすい職場づくりのために



忙しいときこそひと呼吸  
集まる気持ちが事故のもと



## 令和6年能登半島地震 DMAT活動報告

令和6年1月1日 16時10分 石川県能登半島にて最大震度7（M7.6）の地震が発生し、小豆島でも同時刻に地震が確認され、土庄町湊崎で最大震度3が観測されました。この事態に対し医療支援が開始され、香川県にはDMAT第5次隊から派遣要請がありました。当院DMATは、第6次隊（1月31日から2月5日）として能登町で活動しました。

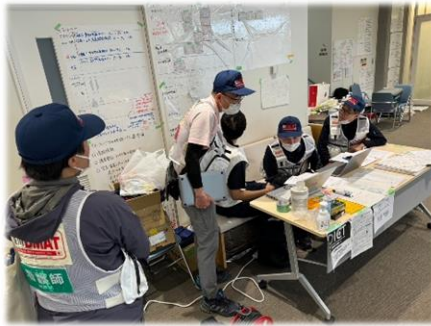
出発に際し、企業長をはじめとした多数の職員に出発式を行なっていただき、院内救急車とDMATカー（2台）で出発しました。道中は天候にも恵まれ降雪、路面凍結などありませんでしたが、被災地に近づくにつれ、建物の半壊、全壊、道路の陥没が確認でき被害の大きさが実感できるようになりました。

能登町に到着後、現地で町内の情報収集、他の部隊との調整を主にする活動を行いました。上下水道の破損により水道が使用できないため風呂、トイレの使用が難しい状況での活動でした。

2月4日に活動が無事終了し、復旧できていない能登を去ることに心苦しさを感しながら2月5日に帰院したところ、病院長をはじめたくさんの職員に出迎えをいただき涙が出る思いでした。

地震の爪痕が残る能登は、今後復旧され、復興されていくと思います。私たちは今回得た経験を当院でも繋げていきたいと思っています。

川田 業務調整員（画像情報科）



## 第42回タートル・フルマラソン全国大会に参加しました。

令和6年1月21日（日）土庄町にて、第42回タートル・フルマラソン全国大会が開催されました。昨年に引き続き当院からは救護班員（医師・事務員）を派遣しました。

また、看護師や事務員などの職員もランナーとして参加しました。当日は雨上がりであり、コースの状態が悪い中、大きな怪我もなく皆さん笑顔でゴールされていました。



## 小豆島中央病院職員募集！

当院では看護師、助産師、薬剤師、臨床検査技師を募集しています。私たちと一緒に小豆島で働いてみませんか♪詳しくは、右側のQRコードを読み取りご覧ください。気になることがありましたらお気軽にお問い合わせください。（問い合わせ先：人事・秘書課 0879-75-1214）

